

浄信寺通信

令和 元年 夏号

名古屋市中村区名駅五丁目二〇番三
宗教法人浄信寺収益事業部羽塚孝和
TEL (〇五二) 五六一一七三六
頒布価格年 千三百円
(檀信徒会費)

何が起きるやらそれが人生

七月十八日京都アニメーション第一スタジオが、放火によって約七〇〇平方メートルが全焼して三十五人もの尊い方々が亡くなった報道を見たとき。ちょうど七ヶ月前の昨年十二月十八日午前九時前、小生が書庫

兼書斎として使っていた、三階の屋根裏部屋を、燃損した出来事が悪夢の如く甦ってきたのである。

人の一生には、何が起きるか分からないのが人生かも知れま

せんが、まさか自分が火事にあうとは考えもしてませんでした。幸い息子が、腕にやけどを負った程度で、人的被害は無かったのが幸いでした。

通行人の方が消防に連絡して、消防車が十数台サイレンを鳴らして出動してきた。

初めての経験でした、駆け足で消防士の方がホースを繋ぎ放水して消火活動をはじめるかと思いきや、そんな気配は無く、四階からは、黒い煙や時折赤い炎が立ち上る建物を呆然と見つめていたのである。

後から知ったのですが、その間に消防士の方々が、三階から一階までの全部屋の家具・電気器機に、消防車備え付けの防煙シートを掛けて養生していたのであった。同様に床や階段には、吸水マットを敷き詰める作業をしてから、やっと消火活動が始まったのであるのだが、後から消防の責任者の方から、放水の量は、最低限にしておきましたと聞かされた。

自宅の立地状況から、多分隣家への延焼心配は無いので、四階部屋の全燃は、致方(いたしかた)がない。それよりは、他の階の水損等の被害を最小限にとどめるそんな配

平和公園墓参のご案内

日時： 8 月 1 2 日 (月)

1 3 日 (火)

午前 8 時頃～午後 1 時頃



※ 燃損した4階の倉庫・書斎、形をとどめた学習机

※ Twitterに投稿された動画からキャプチャー
<https://twitter.com/3TzHw5yfYX3xFyz/status/1074818683120185345>



慮がなされたかも知れません。

そのおかげで家具や家電製品の多くが被害から免れたのであるのだが、最低限の放水と言っても、三階・廊下・階段・二階の床の敷かれた吸水マットからは、放水の水があふれ出ていた。四階・三階は、放水の影響で、電気配線は使えなくなり、壁・天井はクロスが剥がれて全損の状態になってしまいました。出火場所となった住職書斎に置いてあった書籍やアルバム・記録ディスク・パソコンの全部を失ってしまったのである。物的損害だけに限れば、新規購入で補なえる事が出来るかも知れないのだが、七十年近い、つたない我が人生の歩みの証を焼失したと言う精神的な傷手から回復するには長い



※4階 焼失した書類書物の塵芥（ごみ）の山

時間が必要かも知れないと思ったのである。

消防庁の平成三十年の年間の火災発生件数統計では、三万七九〇〇件、一日あたり一〇四件。つまり十四分に一件の割合で火災が起きている。火災による総死者数は約一四〇〇人、負傷者数は六〇〇〇人にもなるのである。改めて防火防災の意識を痛感したのであった。

今回の火災に遭って前述した様に生きてきた証（あかし）の多くの遺物を失ったのだが、結果的には二度と観る事も無かった子供達の運動会のビデオとかアルバムだったかも知れないのだが、それが保存されている事実と、焼損したと言う事では、全く意味が違う事を痛感したのである。

人の一生には、予測しがたい多くの出来事に遭遇するのが人生かも知れない。常日頃は平凡な日常生活を営み、とりたて心のささえ・拠所（よりどころ）を必要としないのが、我々の生き方かも知れないのだが・・・

思わぬ災害や重篤な病気になったとき、人は何で自分だけが、他にもっと悪い事をしている人間がいるんじゃない、なんで自分が・・・

うした思いが脳裏をよぎるのが常なのである。

仏教の思想に、三法印（諸行無常）（諸法無我）（涅槃寂靜）と、ともに、根幹をなす【一切皆苦】の教えがあり、これは人生の全てを【苦】とする考え方で、仏教の根幹をなす思想であると言われている。

二五〇〇年前にお釈迦さまは、【思いどおりにならない人生を、思い通りにしようとする行為そのもので起こる悩みこそ、苦である】と、定義された。

そしてその【苦】から解放されて人生を歩めと言われた。それは、苦そのものを消滅させるのではなくて、どうにもならない現実を是認して認め肯定する事で、【苦】ではなくなると説かれた。

まさにその言葉が、重く今回の火災で心に響いたのである。同時に、今日までの記録遺産などを燃損して、人生をリセットして残された人生を歩み直せ・・・そんな警鐘を火災は教えてくれたのかも知れない。

ごく最近まで仮住まいで、ゆつくりと本を読む時間や寺務をする事ができなくて、お盆の案内を出すのが大変遅くなってしまいました。

なんとか四階・三階は外壁を残し

て新たに内装し直した部屋に引っ越し火災前の生活が徐々に回復しつつあります。火災お見舞いを頂いた方には、ご心配をお掛けし心より御礼申し上げます。



※4階 鉄骨部分だけを再利用改装前状態

修勤講恩報

令和元年11月9日(土)

午前10:00～

勤行・お説教・おとき